報告第１号　 2022年度活動報告

**全体活動**

　(1) 定時役員会（総会）

２０22年４月２4日（日）に書面表決実施。役員19名全員が全ての議案について賛成。

２０22年度　活動報告・会計決算・監査報告の承認。

２０23年度　役員選任・委員選出。事業計画・会計予算の審議と承認。

　(2) 会 議 開 催

① 定時役員会（総会）**：**１回／年。（書面表決による）

② 役員会**：**6回／年、合計144名参加。（そのうち1回はオンライン会議による）

③ 5役会**：6**回／年、55名参加。（そのうち3は回オンライン会議）

④ 広報委員会**：**8回/年、24名参加。

⑤ 経理委員会**：2**回/年、4名参加。

⑥ 活動支援会議**：8**回／年、40名参加。

⑦ 福祉ネットワーク会議**：**8/7(日)12/4(日)2/5(日)開催。出席２０団体で代表者４6名参加。

⑧ 宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」が年11回（3回がリモート・対面会議）開催され、ワークショップ1回開催、石谷会長が出席。

⑨オンライン勉強会：8回/年　56名参加

　(3)具体的活動

① 地域ごとの「まちづくり計画」は、2020年4月以降まちづくりに役立てており、毎年度末「まちづくり計画進捗確認シート」をまとめ報告する。

② 地域住民の「居場所づくり」の活動として、ゆずり葉コミュニティのサロン他の活動団体に対し活動助成金を交付し、年間活動の支援を行っている。（2022年度は、23団体に対して支援を行った。）

③ 逆小校区「福祉ネットワーク会議」を8月7日（日）に社会福祉協議会と共催した。ゆずり葉コミュニティ役員、行政、社協、包括、民生委員児童委員、ＰＴＡ、アトム110番、栄光園の各団体から約50名が参加。「防災情報交換会」の目的で、市総合防災課のお話、事例発表、ワークショップを行った結果、出席者の要望により、第２回１２月４日（日）、第３回２０２３年２月５日（日）を開催した。

➃県立宝塚高校では、6月5日、９月２４日、１１月２７日、１月２８日、４月２日に「ジュニアテニス教室」を開催し、県宝のテニス部員が地域の小中学生（各回２５名）にテニス教室を行った。１０月２１日、１２月２２日に県宝生徒による「校外清掃活動」を実施した。

　 街角花壇「ゆずり葉花壇」は５月１７日、５月２７日、１１月１５日に緑化委員２４名が

　 水やり、苗の植え付けを行った。コミュニティ・スクール（学校運営協議会）は７月７日、３月５日に実施。

⑤逆瀬台小学校では、10月10日に「逆小ドラゴン」が宝塚武庫川ロータリークラブ主催第17回ちびっこ野球大会で優勝した。1月15日に宝塚市青少年市民会議主催の凧揚げ大会が逆小グランドで開催された。3月7日にＰＴＡによる「バルーンリリース」を実施。

　 １１月19日音楽会、１１月２５日「ミニゆずり葉まつり」（サイエンスマジックショー）、

　コミュニティ・スクール（学校運営協議会）６月２４日、３月２日実施。

**―1－**

**事務局活動**

**広　報　委　員**（5役会において、「ゆずり葉だより」編集打ち合せを行なっている。）

1. 広報紙「ゆずり葉だより」の発行

年４回、Ｂ４版４面、カラー印刷で発行。ブログを活用し情報公開に努めた。２０１７年４月から宝塚市まち協のポータルサイトの運用開始、他のまち協の情報も共有できる。

1. 広報紙の配付

年度当初に年間配付日時を設定し、１1自治会、3マンション管理組合に全戸配付。外部には、行政関係、社協、包括、小・中・高の各学校、エデンの園、逆瀬台デイサービスセンター等に配布。また広報紙は、宝塚市立中央図書館・資料室に創刊号から毎号持参し、永久保存。

**書　記　委　員**

　　　　議事録は詳細に記録して会長に届け、次回役員会で全員に配付。議事録は、ブログに掲載して永久保存。

**経　理　委　員**

　　　　協賛金徴収、「ゆずり葉だより」広告掲載料請求、入金及び支払管理、出納は、帳票を確認して迅速、正確に行なった。補助金の申請、報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成、提出。

**施　設　委　員**

　　　　今年度は、感染予防対策に取り組みながら、延べ296時間/年となり、前年度比82％増となった。しかし、利用率は、新型コロナ禍以前の数値から30％程度減少して、早く感染症が終息することを期待し、今後については、午前中の利用は、比較的ゆとりがあるので有効活用を図っている。

**活動支援局活動**

　**(1) 地域交流事業**

① 「白瀬川両岸集合住宅協議会」（白瀬川沿い5マンション自治会と3マンション管理組合で構成）は、偶数月に「ゆずり葉役員会議」終了後、代議員が集まりコミュニケーション会議を実施。次年度は、「宝塚ゴルフ倶楽部」への避難に関する組織を充実し訓練を実施予定。

1. シネマシアターは、センター会館で映画会を行ない、映画を通して親睦を図った。
2. 恒例イベントの「桜祭り」、「夜桜の集い」、「夏祭り」、「文化祭」、「お茶会」、「もちつき」、「収穫祭」などコロナの影響で三密を避け、規模縮小し開催。

④ 役員、行政、社協、包括、民生委員児童委員、ＰＴＡ、等の各団体から約50名が参加学習会、「防災」についての「防災情報交換会」（ワークショップ）を開催し、各自主防災会間の話し合いを実施。好評につき第２回１２月4日、第３回２月５日にも話し合い実施。

　**(2) 子どもの健全育成・三世代交流事業**

①連帯意識を培うべく、小学生入学・卒業のお祝い会、里山ハイキング、芋ほり、遊ぼう会など、野外で三世代のふれあい事業を小規模実施。

1. 11月２６日光ガ丘自治会で、地域住民同士の交流や、自治会活動の活性化を図る目的として、フリーマーケットを実施。子どもたちを対象に、収穫祭、夏休み学習会・基礎英語会話学習の指導などを行ない、健全育成を図った。（三密を避け、自粛する形で、中止あるいは小規模で行った。）

**―2－**

1. 子どもたちが、歴史・伝統・文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み豊かな

人生を涵養するため、2005年から文化庁の支援を受け、毎月「伝統文化いけばな教室」

の活動を行っている。アヴェルデ集会室と中央公民館を活動拠点とし、小学生は、逆瀬台

小、第一小、西山小、末広小、五月台小、市外の名塩小から、それに中学生と高校生まで

が広域で参加している。中央公民館で作品展を開催実施。

**(3) 防災・防犯推進事業**

住民の防災・防犯意識の高揚の為、情報交換会を実施。育成会児童の見守り同伴下校のボランティアの参加呼びかけ実施。児童の登下校時に合わせ、散歩や植木手入れなど、児童見守り活動を実施。

８月７日（日）に防災意識の高揚を目的に「防災情報交換会」を実施、１２月４日（日）、２月５日（日）にも実施。

**(4) 環境美化推進事業**

　　①「まちをきれいに」を合言葉に公園の清掃活動を行なって自然を保護し、絶滅危惧種のミヤマアカネトンボや、ホタルの餌のカワニナを育て、その鑑賞用道路を整備美化する予定であったが（コロナの影響で思うような活発な活動はできてなかった。）白瀬川のクリーンハイキングは11月21日に実施。県宝の学生（美化会員）による「校外清掃は、10月21日、１２月２２日に実施。

②「花と緑の会」で公園及び緑地を花でいっぱいにする活動は、各自治会（光ガ丘の「コミュニティガーデン」）、逆瀬台自治会の「４丁目公園整備」、グリーンハイツ「花愛好会花壇整備」等、宝塚市の公園河川課のアドプト制度の普及にも寄与。グリーンハイツと同時期に出来、40年を経た「白瀬川第三公園」は、公園遊具リニューアル工事が２０２３年２月に完成。街角花壇を県宝の学生さんが整備。

（公園、花壇の美化活動の詳細は次回７月号に掲載予定。環境美化推進は次年度事業の要としたい。）

**(5) ゆずり葉散策路整備事業**

　　①裏山の豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の花と緑があり、高齢者・子どもたち家族揃ってできる健康づくりのための散策路の整備を行ない、裏山の自然を観察しながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なう。（1998年から始まった整備事業は、担当者が高齢化により、2020年から活動休止。再開の目途を検討中。その他、桜守の会や、県による整備活動あり。）

　　②ロードマップを作成活用し、行者山東観峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

**(6) 健康・福祉ネットワーク事業**

1. 8月7日(日)、福祉ネットワーク会議を社会福祉協議会との共催により、地域２０団体の代表者約50名の参加で開催し「防災」をテーマに活発な話し合いを行い、地域防災推進計画の実施を図った。
2. 住み慣れた地域での健康と安心を目指し、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと、生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、グラウンド・ゴルフなどを、三密を避け、自粛しつつ行なった。

③ 高齢者の見守りや閉じこもり予防の介護予防事業として、敬老の日のお祝い訪問、高齢者相互の絆づくりを目指す会、域内で１3箇所のふれあいサロン（健康カラオケサロン、歌唱クラブ、ウクレレの会、手芸サークルなど）を実施して、健康づくり・福祉ネットワーク事業など三密を避け、自粛しつつ行った。

**―3―**

**(7) エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取り組み**

　　　　　高齢化が進み、坂の多いベットタウンである当地は、「高齢者にやさしいまちはあらゆる世代にやさしいまちである」という理念のもと、「お互いさまがあふれるまちづくりを目指して地域の公園、花壇、裏山や地域内の公園をめぐるロードマップの利活用を図り実践活動を実施。

 **(8)「地域ごとのまちづくり計画」課題解決に向けての取り組み**

1. **「防災」**

8/7（日）「地域福祉ネットワーク会議」において、「防災情報交換会」実施。　市の総合防災

課の嘉村係長のご講演、グリーンハイツの事例発表実施。関係者50名のワークショップで

話し合いを行った。第2回を12/4（日）第3回を2023年2/5（日）役員会で実施。

今後、宝塚ゴルフ倶楽部への避難訓練も実施予定。

1. **「防犯」**

㋐「空き家対策」

10/14（金）宝塚市と対策協議会を開催。宝塚市では、「すまい対策課」が所管。「当地域」で約60軒の空き家が存在。空き家に隣接する家屋が困ること（例えば、雑草対策。すずめ蜂の巣駆除。）などの課題を「すまい政策課」が解決。令和3年が10件、令和4年は6件実施。

　　　㋑「防犯カメラ」増設

2023年１月16日防犯交通安全課と協議。設置については、2022年までは、県と市と

域で費用を出し合い設置。2023年も、4月～6月に受け付ける予定。各自治会に希望を募

　　　　　る。

1. **「安全」**

　「ファミリーマート」横の白瀬川沿いＬ字型カーブについて、10月14日（金）宝塚市と対策協議会を開催。車同士の正面衝突事故の危険性、あるいは、歩行者も絡んだ人身事故の危険性がある。

市の判断は、カーブを利用する車のほとんどは当地域の住民と考えられるので、地域内で減速安全運転と歩行者への注意喚起を行う必要がある、というもの。

　　　　 　　　地域では、ファミリーマート敷地内に「減速　注意！」などの看板を設置する方向で検討する。

（参　　考）

　　　以上の「まちづくり計画」課題解決の宝塚市担当部署との、対話シートと、「まちづくり計画」全49項目の進捗シートについては、本議案書巻末に添付しています。

**―4－**